

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年8月13日(2020.8.13)

【公開番号】特開2020-99385(P2020-99385A)

【公開日】令和2年7月2日(2020.7.2)

【年通号数】公開・登録公報2020-026

【出願番号】特願2018-237916(P2018-237916)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和2年6月5日(2020.6.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、

複数の電子部品を制御可能な制御手段と、

遊技機に対する電力供給が停止しても記憶内容を保持可能であり、前記複数の電子部品に関する情報を記憶可能な記憶手段と、を備え、

前記制御手段は、書き込み条件が成立した場合に、前記情報を前記記憶手段に書き込む書き込み処理を実行可能であり、

第1発生条件に対応した第1情報を書き込む場合に、複数の記憶領域に同一の情報を記憶させ、

第2発生条件に対応した第2情報を書き込む場合に、前記複数の記憶領域よりも少ない記憶領域に情報を記憶させ、

前記第2情報に対応する記憶情報が異常と判定されたときに、初期情報を設定する、ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

(1) 上記目的を達成するために、本願の請求項に係る遊技機は、遊技を行うことが可能な遊技機(例えばパチンコ遊技機1など)であって、複数の電子部品を制御可能な制御手段(例えば演出制御用マイクロコンピュータ120など)と、遊技機に対する電力供給が停止しても記憶内容を保持可能であり、前記複数の電子部品に関する情報を記憶可能な記憶手段(例えばバックアップデータメモリ210A~210Dなど)と、を備え、前記制御手段は、書き込み条件が成立した場合に、前記情報を前記記憶手段に書き込む書き込み処理(例えばメモリ書き込み処理部43AKM11、43AKM12による書き込み処理など)を実行可能であり、第1発生条件に対応した第1情報を書き込む場合に、複数の記憶領域(例えばバックアップ記憶部43AKA11~43AKA13など)に同一の情報を記憶させ、第

2 発生条件に対応した第 2 情報を書き込む場合に、前記複数の記憶領域よりも少ない記憶領域（例えばバックアップ記憶部 4 3 A K A 2 1 など）に情報を記憶させ、前記第 2 情報に対応する記憶情報が異常と判定されたときに、初期情報を設定する（例えば電源投入時情報処理による初期値設定など）。

このような構成によれば、情報を適切に管理可能となる。